

土佐市 公開シンポジウム

い どう
移動する

がい こく じん し みる
外国人市民と

ち いき ぼう さい
地域防災

土佐市／高知県 における、技能実習／特定技能 などで在留する
外国人市民と、地域住民による共同防災事業 の意義と可能性

2025年3月19日(水)

13:30～16:00 土佐市複合文化施設 つな一で 3F大会議室

登壇

土井佳彦

NPO法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事

阿部一郎

(一財)自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザー

阿部航太・阿部美香

土佐市地域おこし協力隊 わくせいPROJECT

主催：土佐市



移動する外国人市民と地域防災

土佐市／高知県における、技能実習／特定技能などで在留する外国人市民と、地域住民による共同防災の意義と可能性

人口減少が進む高知県では、地域の産業における担い手不足を背景に、多くの人々が東南アジアの国々から来日し、働き、生活しています。外国人市民の急増をうけて、地域は共生社会実現に向けて舵を切ることを迫られており、特に南海トラフ地震などの自然災害が想定されるエリアでは有事における共生の在り方を早急に探る必要性がうたわれています。技能実習や特定技能といった在留期間が限定的な外国人市民を活動に巻き込むには多くの課題が存在しています。本シンポジウムでは、令和6年度に高知県土佐市が実際に試みた外国人市民との防災事業のレポートに加え、専門家の方々によるレクチャーやディスカッションをとおして、これからの地方における外国人市民と地域の防災について、参加者の皆さんとともに考える機会をつくります。ぜひご参加ください。

第1部 プレゼンテーション／レクチャー

土佐市事業報告／防災・減災のための多言語支援／能登半島地震とインドネシア人コミュニティ

第2部 ワークショップ／ディスカッション

各地域における状況共有／それぞれの課題に対する意見・アイデア交換

日時

2025年3月19日(水)

13:30～16:00 (開場13:15)

入場

無料

申し込み

メール kyoryoku.tosa.info@gmail.com

電話 088-852-7679 (平日9～17時)

オンラインフォーム



シンポジウムの詳細は、「わくせい PROJECT」のnoteにて随時発信します



*
当日参加も可能ですが、人数把握のため事前の申し込みをお願いしています。



土井佳彦

大学卒業後、留学生や技術研修生を対象とした日本語教育に従事。2008年、「多文化共生リソースセンター東海」の立ち上げに参画し、翌年に代表理事に就任。2009年にはNPO法人多文化共生マネージャー全国協議会の理事に就任し、2018年より代表理事を務める。災害時外国人支援の知識やノウハウを盛り込んだ『防災・減災のための多言語支援の手引き2023』(一財・自治体国際化協会発行)の策定に携わる。



阿部一郎

公財)箕面市国際交流協会事務局次長を経て、(特活)多文化共生センター理事長、東京外国語大学多言語多文化教育研究センター研究員、全国各地の国際交流協会のアドバイザー等を歴任して現在に至る。大学で教鞭をとる傍ら、バンコクのスラムで暮らす子どもたちへの教育支援活動や国内の子育て支援のNPO活動に参加している。土佐市の多文化共生プラン策定事業にアドバイザーとして参画中。



阿部美香・阿部航太

2022年4月に土佐市に移住し、「海外からの技能実習生と地域住民との交流づくり」をミッションに地域おこし協力隊として活動を開始。市の多文化共生事業に従事しながら、市内の技能実習生を含む様々な人たちが集えるスペースの立ち上げを目指す「わくせいPROJECT」を展開し、市内外におけるリサーチや、ワークショップの開催、執筆や講演など活動を広げている。

会場

土佐市複合文化施設

つな一で

3F 大会議室

〒781-1102

高知県土佐市高岡町乙3451-1

